

2021年12月15日

## 福岡「一般社団法人言葉のかけはし」発足

## “聞こえないからと諦めずに挑戦できる社会創り”に向け、サポートを

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和、以下そらいろ）の次の展開として、「一般社団法人言葉のかけはし」（福岡市、代表理事：岩尾至和、以下かけはし）を2021年10月に設立いたしました。かけはし法人パートナー（※1）として第一社目に株式会社ママミール（福岡市、代表取締役 畑中章宏、以下ママミール）が参画することをお知らせいたします。

## 難聴理解促進活動をベースとする「聞こえの共生推進プロジェクト」

そらいろは2017年12月の設立以来、福岡市の難聴特化の民間児童発達支援施設の開所に力添え、難聴を知る小冊子を福岡市立心身障がい福祉センターと連携して作成、2020年度より制度改正された福岡市特別支援保育事業の支援区分判定基準に関する合意形成（※2）、難聴理解促進動画『なんちようなんなん』の制作・発信を展開。それらを通じ古くから多くの人が聞こえづらさにより不利益を被ってきたにも関わらず「見えづらい障がい」故に有効な対策が取られないまま現在に至ることを実感しました。当法人立ち上げにあたり、県内259企業に独自アンケート調査を実施したところ「聴覚障がい者の雇用に関し前向きな取り組みを検討している」旨の回答が極めて少ないことから、難聴に関する圧倒的な理解不足を感じています。それらを踏まえ、聞こえなくても聞こえる人と同じ可能性を持って生活できる社会を今こそ創るべきだと、当社団法人を発足。啓発事業の要素が強いことから、まずはご寄付をいただく形で活動をスタートいたします。（※1）ご寄付でサポートいただく企業の呼称



（※2）手帳保持者に限定されていた当初案を、市側に丁寧に働きかけることによって手帳を保持しない難聴児も対象とした

## かけはし法人パートナーの第一社目が決定！ 幼稚園弁当の製造・販売「株式会社ママミール」

ご賛同いただいた最初の企業は 福岡市・近郊の幼稚園60園に給食弁当を提供しているママミール。幼稚園弁当に特化したサービスを展開する法人は全国でも数少ない中、同社は子どもたちが「食べることができた！ 完食できた！」という小さな成功体験を積み重ねることによる、心身の成長サポートをミッションとしています。令和元年に企業主導型保育園を開園、難聴児が在籍していることもあり、深い理解を寄せてくださいました。オフィスランチ日替わり弁当でおなじみの「お弁当のはたなか」のグループ会社で、給食ベンチャー（スマホで選べるスクールランチ「ペコフリー」）（※3）を立ち上げるなどグループ全体でSDGsにも注力。強力なパートナーと共に、当法人の理念である「聞こえない世界の正しい理解を常識にし、聞こえない人、聞こえる人が同じ可能性を持って生活できる社会づくり」実現に向け、様々な活動を展開してまいります。（※3）<https://pecofree.jp/>



■一般社団法人言葉のかけはしについて (<https://www.kotoba-bridge.org/>)

代表理事：岩尾至和（難聴の子を持つ家族会そらいろ 会長）

活動内容：難聴理解の促進、聴覚障がいを持つ中高大学生のキャリア支援、難聴の子を持つ家族の支援  
聴覚障がいを持つ人を雇用する法人支援 など

■株式会社ママミールについて (<http://mama-meal.com/>)

代表者：代表取締役 畑中 章宏

所在地：福岡市南区横手2丁目9-13

事業内容：幼稚園弁当の製造・配達を展開する「株式会社はたなか」のグループ会社。グループ全体で弁当～学校給食まで毎日約2万食を調理・提供、手作りならではの味と栄養価の高さが好評。



【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人言葉のかけはし：岩尾（いわお） e-mail：[y-iwao@kotoba-bridge.org](mailto:y-iwao@kotoba-bridge.org)